



発行所： 保育総合研究会事務局 H21・  
茨城県東茨城郡茨城町上飯沼1276-1 飯沼保育園内  
TEL029-292-6868 FAX 029-292-3831  
発行人： 会長 梶 沢 幸 苗

平成21年5月19日(火)午後1時30分から、こどもの城801号において定期総会並びに第30回定例会、5月20日(水)午後1時から世界文化社において、自己チェックリスト研修会(東京)が開催された



滝田昌孝氏(茨城)が議長に選出され、平成20年度事業報告及び決算報告、平成21年度事業計画及び予算(案)を審議、原案通り承認された。

### 1. 平成20年度事業報告

「子どもと家族を応援する日本」重点戦略会議の答申を受けて、本年3月から社会保障審議会少子化対策特別部会で、次世代育成支援のための新たな制度体系の設計に向けて議論を重ねてきた。5月に基本的考え方を取りまとめ、9月から保育サービスを主とした今後の新たな制度体系の詳細設計に向けて議論がなされている。こうした中で第27回定例会では、保育システム研究所代表を招いて「包括的な次世代育成支援と保育所制度改革について」をテーマに講演、厚労省保育課長からは「今後の保育の動向」をテーマに講演を頂いた。



第28回定例会は東京家政学院大学准教授を招いて、保育指針への食育計画と実践をサブテーマに講演を頂いた。第29回定例会では遊育編集長から少子化対策特別部会委員として「保育をめぐる動向と保育所の近未来を考える」をテーマに講演を頂き、3回の定例会を実施した。年次大会では、「新たな保育の仕組みによる子どもの最善の利益を考える」をメインテーマに開催し、鼎談では東北福祉大学教授、JPホールディングス代表取締役を迎えて少子化対策特別部会並びに事業者検討会委員を務めた感想を含め、意見を伺った。特別講演では厚労省少子化対策企画室長から新たな保育の仕組みのテーマに講演を頂き、実施した。

又、新保育所保育指針がこの4月から改正施行に当たって、保育課程、指導計画策定が義務付けされることに伴い、サポートブックを12月に発刊した。しかし、各保育所で作成するには演習を含めた研修が必要とされることから、岩手・東京・大阪の3会場で実施した。3会場の参加者は200名を超え、4月からの計画に悩んでいたのが良かったなどの意見を頂き、参加できなかった方々からは各県に出向いての研修要請の問合せもあった。新保育指針では職員の資質向上の観点から自己評価が必要とされ、保育指針に基づいた自己チェックリストにリニューアル版として、「新保育所保育指針に基づく自己チェックリスト100」を3月に発刊した。

情報発信として、当ホームページをブログ形式にして、自由に書き込みできる参加型へとリニューアルした。セキュリティ等の経費節減からKDDIホスティング契約を解消して、事務局(境いずみ保育園)サーバに移転した。会員周知のために定例会、年次大会内容を掲載した広報誌No.31号～34号を発行した。日本保育協会発行の保育界に保育研究シリーズ:学びの基本5月～7月号、保育研究シリーズ:保育の専門性を考える9月～3月号に寄稿して掲載している。そして、世界文化社発行の保育プリプリに保育計画及び指導計画を付録掲載してきた。

尚、当会設立10周年記念事業に関して、次年度に記念誌を発行、視察研修等について役員会で実施に向けて検討した。



| 年月日        | 事業内容                                                                                                           | 場所                                   |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 平成20年4月18日 | ・役員会、監事会(10名)                                                                                                  | 東京・こどもの城                             |
| 5月23日      | ・定期総会(30名参加)<br>・第27回定例会<br>(ゲスト 保育システム研究所代表 吉田 正幸氏)<br>(ゲスト 厚労省保育課長 義本 博司氏)                                   | 東京・アルカディア市ヶ谷私学会館                     |
| 6月1日       | ・会費請求送付                                                                                                        | (会員に送付)                              |
| 7月11日      | ・全国青年保育者会議沖縄大会分科会を担当<br>(テーマ)保育指針と保育所の教育プログラム                                                                  | 沖縄コンベンションセンター<br>(担当:子育て支援部会)        |
| 8月27日      | ・第28回定例会(33名参加)<br>(ゲスト 東京家政学院大学准教授 酒井 治子氏)                                                                    | 東京・アルカディア市ヶ谷私学会館                     |
| 11月27日     | ・第2回役員会(14名参加)<br>・第29回定例会(36名参加)<br>(ゲスト 遊育編集長 吉田 正幸氏)                                                        | 東京・アルカディア市ヶ谷私学会館<br>東京・アルカディア市ヶ谷私学会館 |
| 12月1日      | ・当会ホームページリニューアル開設(ブログ形式)                                                                                       | 境いずみ保育園サーバに移転                        |
| 12月7日      | ・新保育所保育指針サポートブック発刊(世界文化社発行)                                                                                    | (販売)会員1,200円 一般1,680円                |
| 平成21年1月6日  | ・サポートブック研修会岩手会場(82名)                                                                                           | KDDI                                 |
| 1月17日      | ・サポートブック研修会東京会場(85名)                                                                                           | 岩手県・グランシュール花巻                        |
| 1月27日      | ・サポートブック研修会大阪会場(42名)                                                                                           | 東京・アルカディア市ヶ谷私学会館                     |
| 2月5日～6日    | ・年次大会(35名参加)<br>(鼎談ゲスト)東北福祉大学教授 岩淵 勝好氏<br>JPホールディングス代表取締役 山口 洋氏<br>(講師)厚労省少子化対策企画室長 朝川 知昭氏<br>(講師)遊育編集長 吉田 正幸氏 | 東京・市ヶ谷鯨乃屋                            |
| 2月23日      | ・役員打合せ会(6名)                                                                                                    | (販売価格)525円                           |
| 3月1日       | ・自己チェックリストリニューアル版発刊(世界文化社発行)                                                                                   |                                      |
| 7月22日      | ・広報誌No.31号発刊                                                                                                   |                                      |
| 10月22日     | ・広報誌No.32号発刊                                                                                                   |                                      |
| 2月9日       | ・広報誌No.33号発刊                                                                                                   |                                      |
| 2月23日      | ・広報誌No.34号発刊                                                                                                   |                                      |
| 5月～7月      | ・保育界執筆                                                                                                         | 保育研究シリーズ:学びの基本                       |
| 9月～3月      | ・保育界執筆(平成21年10月号まで掲載予定)                                                                                        | 保育研究シリーズ:保育の専門性を考える                  |
| 4月～3月      | ・世界文化社プリプリ付録掲載                                                                                                 |                                      |

### 部会活動報告



| 年月日    | 活動内容                        | 場所               |
|--------|-----------------------------|------------------|
| 5月24日  | ・子育て支援部会(沖縄大会分科会について)       | 茨城県水戸市・ホテルシーズン   |
| 6月18日  | ・子育て支援部会(沖縄大会分科会について)       | 東京・世界文化社         |
| 9月21日  | ・子育て支援部会(サポートブック編集)         | 福島県いわき市・ホテルミドリ   |
| 11月27日 | ・子育て支援部会(自己チェックリスト作成について)   | 東京・世界文化社(鯨乃屋)    |
| 1月6日   | ・サポートブック研修岩手会場(子育て支援部会担当)   | 岩手県・グランシュール花巻    |
| 1月17日  | ・サポートブック研修東京会場(子育て支援部会担当)   | 東京・アルカディア市ヶ谷私学会館 |
| 1月27日  | ・サポートブック研修大阪会場(保育内容・人材部会担当) | 大阪・千里朝日阪急ビル14階   |
| 3月17日  | ・子育て支援部会                    | 岩手県・奥州市ドレミ保育園    |



平成20年度会計収支決算書

(収入の部) (単位 円)

| 科目        | 予算額         | 決算額         | 比較増減      | 備考                                              |
|-----------|-------------|-------------|-----------|-------------------------------------------------|
| 会費収入      | 1,120,000   | 1,340,000   | 220,000   | 会費20,000×62 10,000×1<br>入会金10,000×3施設 過年度60,000 |
| 事業費収入     | 2,300,000   | 3,796,467   | 1,496,467 |                                                 |
| ・定例会等参加費  | (1,500,000) | (2,410,500) | (825,000) | 総会・定例会3回・年次大会・サポートブック                           |
| ・研修カルテ利用料 | 0           | 0           | 0         |                                                 |
| ・原稿執筆料    | (700,000)   | (1,352,167) | (652,167) | 保育プリプリ・サポートブック                                  |
| ・冊子販売料    | (10,000)    | (33,800)    | (23,800)  | 教育プログラム                                         |
| 寄付金収入     | 1,000       | 0           | -1,000    |                                                 |
| 雑収入       | 10,000      | 110,227     | 100,227   | 利息・青年部謝礼・研修協賛金                                  |
| 繰越金収入     | 1,335,499   | 1,335,499   | 0         |                                                 |
| 合計        | 4,766,499   | 6,582,193   | 1,815,694 |                                                 |

(支出の部)

| 科目      | 予算額       | 決算額       | 比較増減       | 備考                |
|---------|-----------|-----------|------------|-------------------|
| 会議費     | 300,000   | 107,040   | -192,960   | 役員会、監事会室料・弁当代 他   |
| 事業運営費   | 1,500,000 | 2,803,850 | 1,303,850  | 総会・定例会・年次大会、懇親会 等 |
| 管理運営費   | 0         | 0         | 0          |                   |
| 研究活動費   | 300,000   | 300,000   | 0          | 三部会 各10万          |
| 通信費     | 150,000   | 97,975    | -52,025    | 切手・宅配・送金料         |
| 委託費     | 100,000   | 29,418    | -70,582    | HP・メールホスティング契約    |
| 印刷製本費   | 100,000   | 85,732    | -14,268    | 広報誌               |
| 備品消耗品費  | 50,000    | 80,890    | 30,890     | 封筒印刷代             |
| 旅費      | 200,000   | 160,380   | -39,620    | 代表者派遣             |
| 雑費      | 100,000   | 81,740    | -18,260    | 慶弔費               |
| 特別会計繰出金 | 1,000     | 0         | -1,000     |                   |
| 予備費     | 1,965,499 | 0         | -1,965,499 |                   |
| 合計      | 4,766,499 | 3,747,025 | -1,019,474 |                   |

収入総額(6,582,193円)－支出総額(3,747,025円) 差引残高 2,835,168円

平成20年度会計特別会計積立決算書

(収入の部) (単位 円)

| 科目    | 予算額       | 決算額       | 比較増減   | 備考 |
|-------|-----------|-----------|--------|----|
| 積立金収入 | 1,000     | 0         | -1,000 |    |
| 雑収入   | 1,000     | 0         | -1,000 |    |
| 繰越金収入 | 5,500,000 | 5,500,000 | 0      |    |
| 合計    | 5,502,000 | 5,500,000 | -2,000 |    |

(支出の部)

| 科目    | 予算額       | 決算額       | 比較増減   | 備考 |
|-------|-----------|-----------|--------|----|
| 取崩金支出 | 1,000     | 0         | -1,000 |    |
| 雑支出   | 1,000     | 0         | -1,000 |    |
| 次期繰越金 | 5,500,000 | 5,500,000 | 0      |    |
| 合計    | 5,502,000 | 5,500,000 | -2,000 |    |

入総額(5,500,000円)－支出総額(次期繰越金)(5,500,000円) 差引残高 0円

2. 平成21年度事業計画(案)

国は「子どもと家族を応援する日本」重点戦略会議のとりまとめを受けて、昨年社会保障審議会少子化対策特別部会において、次世代育成支援のための新たな制度体系の設計として、新しい保育の提供の仕組みを中心に議論してきた。

新たな保育の仕組みとして、保育の必要性・量について市町村が判断して認定証明書を発行、それに基づいた公定価格による利用者と保育園の公的契約で利用者の保育を保障している。保育の必要性には保育に欠ける他、パート就労、専業主婦家庭にも一定の必要性を認めて利用できるとしている。しかし、新しい仕組みを実施するには新たな財源、法律改正等の手続きを必要とし、国の中期プログラムには2013年実施が盛り込まれている。

国は平成20年度補正予算において、子育て支援対策臨時特例交付金(安心こども基金・H20～H22)を創設、保育所整備、認定こども園、子育て支援の拠点等の整備、保育士の研修費用等にも活用するとして、包括的な少子化対策に転換されてきたことが伺える。

こうした中で待機児童のいる地域、人口減少地域など地域事情が異なる状況が出現し、今後の保育所機能のあり方が求められることになる。様々な保育所機能の中で子どもの保育のあり方、子育て支援のあり方を研究し、自己チェックリスト研修を通して自己評価の周知に務めるなど保育の質の向上を目指し、併せて専門性について研鑽することを目的として事業展開するものである。

尚、本年は当研究会設立(平成11年10月)から10年目を迎え、記念事業を実施する。

1. 事業

- ① 定例会の開催
- ② 年次大会の開催(10周年記念事業)
- ③ 部会の開催(保育内容部会・人材部会・子育て支援部会)
- ④ 広報誌の発行(定例会並びに年次大会の都度)
- ⑤ 日保協保育界、世界文化社保育プリプリに寄稿して掲載する。
- ⑥ 設立10周年記念誌作成
- ⑦ 設立10周年記念海外視察研修(イタリア)
- ⑧ その他必要に応じ関係すること

2. 会議

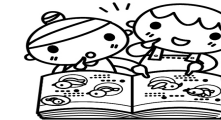
- ① 総会の開催
- ② 役員会の開催
  - ・設立10周年事業実行委員会を兼務



3. 事業日程内容

| 年 月     | 事業内容                  | 備考                  |
|---------|-----------------------|---------------------|
| 平成21年4月 | ・役員会 ・監事会(4/16)       | ・東京、こどもの城           |
| 5月      | ・定期総会 ・第30回定例会(5/19)  | ・ゲスト(厚労省保育課長 今里 謙氏) |
|         | ・チェックリスト研修会東京会場(5/20) | ・東京、世界文化社           |
| 7月      | ・チェックリスト研修会大阪会場(7/8)  | ・大阪、千里朝日阪急ビル        |
| 8月      | ・第31回定例会              |                     |
| 11月     | ・第32回定例会              |                     |
|         | ・海外視察研修               | ・イタリア               |
| 平成22年2月 | ・10周年記念式典 ・年次大会       |                     |
| 3月      | ・役員会                  |                     |

※尚、ゲスト講師はその都度、行政・報道関係・医師・教育関係者等を迎える予定である。



平成21年度会計収支予算書(案)

(収入の部) (単位 円)

| 科目       | 前年度予算額      | 本年度予算額      | 比較増減      | 備考                 |
|----------|-------------|-------------|-----------|--------------------|
| 会費収入     | 1,120,000   | 1,220,000   | 100,000   | 20,000×60 10,000×2 |
| 事業費収入    | 2,300,000   | 2,300,000   | 0         |                    |
| ・定例会等参加費 | (1,500,000) | (1,500,000) | 0         | 定例会・年次大会参加費 等      |
| ・原稿執筆料   | (700,000)   | (700,000)   | 0         | 保育プリプリ             |
| ・冊子販売料   | (10,000)    | (10,000)    | 0         | 教育プログラム 等          |
| 寄付金収入    | 1,000       | 1,000       | 0         |                    |
| 雑収入      | 10,000      | 10,000      | 0         | 利息 等               |
| 繰越金収入    | 1,335,499   | 2,835,168   | 1,499,669 |                    |
| 合計       | 4,766,499   | 6,366,168   | 1,599,669 |                    |

(支出の部)

| 科目      | 前年度予算額    | 本年度予算額    | 比較増減      | 備考              |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 会議費     | 300,000   | 300,000   | 0         | 役員会・会議室料、弁当代 他  |
| 事業運営費   | 1,500,000 | 1,500,000 | 0         | 定例会・年次大会・懇親会費 他 |
| 研究活動費   | 300,000   | 300,000   | 0         | 部会活動費 各10万円     |
| 通信費     | 150,000   | 150,000   | 0         | 送料 他            |
| 委託費     | 100,000   | 10,000    | -90,000   | ホームページ・メール管理料 等 |
| 印刷製本費   | 100,000   | 100,000   | 0         | 広報誌 等           |
| 備品消耗品費  | 50,000    | 50,000    | 0         | コピー用紙 他         |
| 旅費      | 200,000   | 200,000   | 0         | 派遣旅費            |
| 雑費      | 100,000   | 100,000   | 0         | 慶弔費 他           |
| 特別会計繰出金 | 1,000     | 1,000     | 0         |                 |
| 予備費     | 1,965,499 | 3,655,168 | 1,689,669 |                 |
| 合計      | 4,766,499 | 6,366,168 | 1,599,669 |                 |

(科目間の流用を認めるものとする。)

平成21年度特別会計予算書(案)

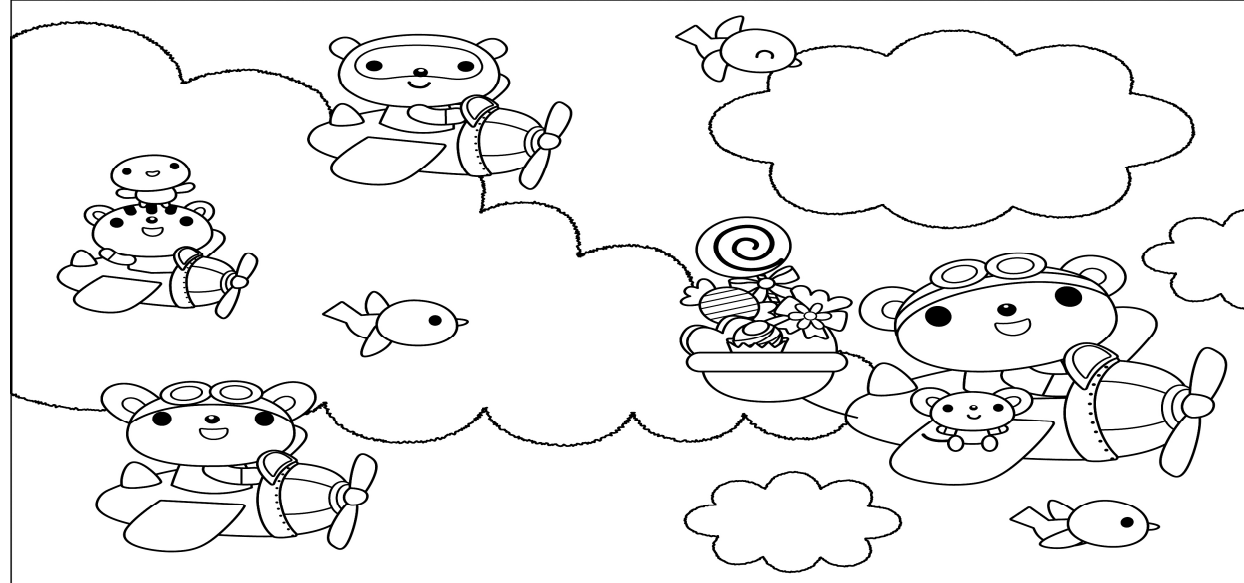
(収入の部) (単位 円)

| 科目    | 前年度予算額    | 本年度予算額    | 比較増減 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|------|----|
| 積立金収入 | 1,000     | 1,000     | 0    |    |
| 雑収入   | 1,000     | 1,000     | 0    |    |
| 繰越金収入 | 5,500,000 | 5,500,000 | 0    |    |
| 合計    | 5,502,000 | 5,502,000 | 0    |    |

(支出の部)

| 科目    | 前年度予算額    | 本年度予算額    | 比較増減       | 備考            |
|-------|-----------|-----------|------------|---------------|
| 取崩金支出 | 1,000     | 1,000     | 2,999,000  | ・海外視察助成、記念誌発行 |
| 雑支出   | 1,000     | 1,000     | 0          |               |
| 次期繰越金 | 5,500,000 | 5,500,000 | -2,999,000 |               |
| 合計    | 5,502,000 | 5,502,000 | 0          |               |

| 役職名     | 氏名     | 都道府県 | 施設名        | TEL          | FAX          | 備考       |
|---------|--------|------|------------|--------------|--------------|----------|
| 会長      | 栴沢 幸苗  | 青森県  | 中居林保育園     | 0178-96-1690 | 0178-96-4930 |          |
| 副会長(総務) | 坂崎 隆浩  | 青森県  | 野木保育園      | 0173-22-5719 | 0173-22-6013 |          |
| 副会長(企画) | 森田 信司  | 大阪府  | 花園第二保育園    | 0729-62-5010 | 0729-66-2877 |          |
| 副会長(広報) | 伊藤 一男  | 新潟県  | みどり保育園     | 0258-52-3239 | 0258-52-3249 |          |
| 副会長(渉外) | 田和由里子  | 広島県  | 春日保育所      | 0849-43-8738 | 0849-41-9184 |          |
| 事務局長    | 東ヶ崎 静仁 | 茨城県  | 飯沼保育園      | 029-292-6868 | 029-292-3831 |          |
| 事務局次長   | 川崎 真   | 京都府  | 岩倉こひつじ保育園  | 075-791-1234 | 075-791-4660 |          |
| 事務局次長   | 菊地 義行  | 茨城県  | 境いずみ保育園    | 0280-81-1126 | 0280-81-1189 |          |
| 理事      | 川島 真諒  | 秋田県  | 子吉保育園      | 0184-22-0045 | 0184-24-1133 |          |
| 理事      | 遠藤 浩正  | 福島県  | 会津報徳保育園    | 0242-27-2805 | 0242-27-9933 | 子育て支援部会長 |
| 理事      | 遠藤 浩平  | 福島県  | 門田報徳保育園    | 0242-26-3144 | 0242-26-3319 | (新)      |
| 理事      | 松山 美法  | 茨城県  | まつやま中央保育園  | 0297-62-5562 | 0297-62-5562 | 保育内容部会長  |
| 理事      | 成田 豊子  | 東京都  | 子供の家愛育保育園  | 03-3893-3373 | 03-3893-0752 |          |
| 理事      | 田口 威   | 神奈川県 | 和田愛児園      | 045-331-4534 | 045-331-4722 | 人材部会長    |
| 理事      | 太田嶋 信之 | 静岡県  | 龍南保育園      | 054-248-6668 | 054-200-4844 |          |
| 監事      | 加藤 要瑞  | 長野県  | つましな保育園    | 026-234-2066 | 026-234-1775 |          |
| 監事      | 本田 一幸  | 熊本県  | つばめ保育園     | 096-380-6635 | 096-380-8649 |          |
| 相談役     | 吉田 正幸  | 東京都  | 保育システム研究所  | 03-3586-6788 | 03-5561-0609 |          |
| 副部会長    | 三木 一平  | 香川県  | あすなろ保育園    | 0878-43-3143 | 0878-44-0273 | 人材       |
| 副部会長    | 筒井 桂香  | 徳島県  | もとしろ保育園    | 0886-54-2967 | 0886-54-2967 | 人材(兼事務局) |
| 副部会長    | 打田 修子  | 岩手県  | 睦保育園       | 0198-23-6274 | 0198-23-6274 | 子育て支援    |
| 副部会長    | 滝田 昌孝  | 茨城県  | つくば保育園     | 0296-32-2235 | 0296-33-7133 | 子育て支援    |
| 副部会長    | 東口 房正  | 大阪府  | いずみっこ保育園   | 06-6914-4100 | 06-6901-3285 | 子育て支援    |
| 副部会長    | 福沢 紀子  | 青森県  | 保育所つるた乳幼児園 | 0173-22-3765 | 0173-22-2940 | 保育内容     |
| 副部会長    | 藤井 みはと | 秋田県  | 中央保育園      | 0184-23-1313 | 0184-22-3781 | 保育内容     |
| 副部会長    | 武智 龍子  | 愛媛県  | あさひ保育園     | 0899-24-5590 | 0899-23-4032 | 保育内容     |
| 事務局     | 土山 雅之  | 静岡県  | 白道保育園      | 0559-72-2291 | 0559-76-3986 |          |
| 事務局     | 只野 裕子  | 青森県  | 青森よつば保育園   | 017-766-1151 | 017-766-1151 |          |



# 第30回定例会



[講演テーマ] 今後の保育のあり方

講師 厚労省雇用均等・児童家庭局保育課長  
今里 譲氏

## 1. 新型インフルエンザについて

現在、新型インフルエンザ発症のため兵庫県と大阪府で1000箇所以上の保育所が休業している。政府の行動計画は子どもの安全確保が第一であり、その範囲内で社会的影響をなるべく少なくしたい。現在保育所施設等に対して休業を要請している。これを受けて一週間閉まっている。いきなり一週間では困るので、同時に2つのことをしている。事業者団体(経団連等)に、保育所が閉まって休まざるを得ない場合特別休暇で休ませてくださいと要請している。また医療関係者については従事できないのでは困るので、小規模で場所を限って実施する、また保育士さんが自宅で保育する方法など、対応策を各都道府県・市で検討してくださいと要請している。

## 2. これからの保育制度のあり方

＜人口減少社会到来について＞

50年後には65歳の人口割合が40.5%になり社会保障に仕組みが根底から崩されることを危惧する。また2105年には65歳の人口は変わらないが、人口はトータルで三分の一に減少しこの国を支え維持出来なくなる。目の前の問題に対して第二次ベビーブーム世代に出生率が上がらないと次世代の子どもが増えていかない。

＜子どもと家庭を応援する日本重点戦略＞

就労と結婚子育ての二者選択でなく両方を両立させるためにワークライフバランスと子育てを支援する社会的基盤の構築と、この2つを車の車輪として取り組む必要がある。少子化対策部会で第一次報告をとりまとめ、具体的に次のステージで検討するため現場の人からのご意見を解したい。

＜少子化対策特別部会第一次報告＞

保育内容が良い悪いではなく、現在の制度は女性の就労が一般的でなかった昭和20年代にでき、社会の変化に対応できていない。保育の需要は飛躍的増大している。大きな潜在需要や働き方の多様化・親支援・子育ての負担感など全ての子どもの健やかな育ちの支援に基本を置き、私的契約や経済競争原理ではなく、公的保育機能の維持、質の確保ができれば保障をしていくため財源確保が絶対である。これを踏まえて、量の不足やニーズに対応するためには、今のままでは困難である。現状は市町村に実施義務が課せられているが、例外規定があり認可外の斡旋でも可である。市町村は、財政が厳しいから保育所を造れない等、新規参入抑制や保育に欠けるをどう判断するかは地方自治体で明記されるため窓口で需要を潜在化させやすい。

＜認可保育所の質の向上＞

現在の状況で保育指針に基づいた保育が出来るのかという不安の声もある。現実には厳しいと感じるが、がんばって保育してほしい。最低基準や基準内容、保育士の研修や処遇についても、仕組みの課題と同じ目を離すことなく質の向上に取り組んでいきたい。

認可保育所に入れない場合は公的補助が受けられないという不公平感がある。この問題について次元的に認可水準並みに向上する支援を行っていく。人口減少地域において保育が成り立たなくなる、また都会で弾力的対応をするためにも、小規模サービス類型を創設し保育所が担ってきた機能のあり方を検討する。病児病後児保育も拡大していく仕組みを整備していく必要がある。

＜今後の保育制度の姿としてどうあるべきか＞

制度の設計には財源が必要である。財政改革で消費税の大きな財源確保が不可欠である。新たな保育の仕組みとして、公的保障が例外なく受けられる仕組みとして保育に欠ける認定は市町村が量や必要性を判断し証明書を交付(記録)して公的保障を受ける地位をもらう。利用者や保育所が公的保育を凍結するが、市町村も利用者のコーディネイトやフォローをおこなう。

判断基準の作り方について、保育の必要判断基準を国が決定する。その上で市町村が弾力的に特徴的基準をつくり、次世代育成の構造計画からも今後どれだけの子どもが保育を必要とするか推計把握して提供できるように造っていく。

＜参入にあたって＞

質の確保されたスピード感のある拡充のため指定制を基本としつつ検討する。施設整備を当面何らかの形で残すが、運営費に減価償却を乗せしていくことを検討する。保育料については、公的価格(公費による補助額+利用者負担額)であり、実利用料ではなく必要量で行い出来高払いではない。保育料の徴収は保育所が行うが未納等についての扱いは今後検討していく。今回新型インフルエンザも保育所が休業部分についての運営費はでるが、利用者からは保育料を徴収せず全額公費負担で行うことにしている。

認可保育所の質の向上について、保育所保育指針研修会の主催を市町村でおこないステップアップが図れる仕組みと共にステップアップした者の評価による処遇改善を検討する。



## 質疑応答

Q 財政支援があったとしていつごろを目途に考えているのか。

A 社会保障機能強化のための中期プログラムが閣議決定されている。その工程表に財政改革を行い財源確保して医療・介護・年金・少子化(保育制度改革)の4つの柱に投入していく。これは景気の回復を見ながらタイミングを見ていくのでだいたい2011年法律改正2013年施行。

Q 現状から考えると一時保育の制度は逆行しているのでは。

A 法律の定められた事と、同時に保育所で行われるものとそれ以外で行われるものがあることが明確になった。依然柔軟にできていたものが、定款変更・評議委員会・区分経理に変更等の問題がでてきてしまったことが大きい。基本は社会福祉法人に評議員と理事会があることが大原則である。しかし保育所だけの法人は特例があった。事業としてきちんとやっていく上で特例適応ができない仕組みになった。一兆円という公費を投入している事もあり形の上できちっと整える必要がある。猶予期間の間に準備してほしい。しかし制度の改革を行っていく中で、全ての子どもを保障するという流れから見直しがあるかもしれない。

Q 一時預かりについて自主事業と補助事業があると聞いたが。

A 補助事業・自主事業で整理しているのではなく、児童福祉法に書かれている一時預かり事業を行うかどうかである。国の立場として認可保育所は法定された事業を行うべきものであると考える。




# 自己チェックリスト研修会

[講師] 保育総合研究会  
会長 梶沢 幸苗氏  
副会長 坂崎 隆浩氏

「新保育所保育指針に基づく自己チェックリスト100」は第1章から第7章までからなっており、それは「新保育所保育指針」の各章の項目にそったものとなっている。

## 第1章 総則

「保育所保育指針」の趣旨、必要な法令、保育の役割、保育の原理、保育所の社会的責任、苦情解決の対応、保育理念・目標を理解しているか。

## 第2章 子どもの発達

発達の定義を理解しているか。

## 第3章 保育の内容

保育のねらい及び内容、養護と教育の関わりを理解しているか。

## 第4章 保育の計画及び評価

子どもの環境改善を目的とした省察・公表の一連の循環を意識して行う事を理解しているか。

## 第5章 子どもの健康と安全を保障するのは保育所の基本です。アレルギーと食育の項をいくつかの視点からあげ、それが理解できているか、また保育指針の第5章は第1章と第3章とも関連していることを理解できているか。

## 第6章 保護者に対する支援

入所する子どもの保護者への支援と地域への子育て家庭への支援について理解できているか。

## 第7章 職員の資質向上

一般常識、必要なコミュニケーション、保育士としての姿勢、職員間の連絡体制を理解できているか。

以上の項目をチェックし個人はもとより、クラス、園全体の評価や課題を導き出し、次年度への改善点を提案する事が園全体の保育のスケールアップにつながっていきます。

講演後、演習にはいり個々に評価記入用紙に記入し、それを各章ごとに数字をまとめ、各章の○の数を結んで七角形を作った。この七角形が大きく、均等な形になるのが理想となります。この自己チェックをすることにより、個人評価、クラス運営評価、園全体評価につながり、今年度の評価点、今年度の課題点、次年度の改善点へとつながっていくわけである。それはまさに「保育所保育指針」第7章、保育所は質の高い保育を展開するため、絶えず一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努めなければならない、ということにつながっていくのです。

